

初めまして、高田と申します。

先日新聞に掲載されておりました「少年野球よりわんど」という記事を拝見してメールさせていただきました。

まずは「よくぞやっていただいた！」と貴会の素晴らしい実績に僭越ながら賞賛を送らせていただきます。

私は長年城北ワンドをはじめ淀川河川敷の水辺で魚(在来種)釣りや生き物の観察をしてきましたが、近年、可動堰完成後のダム化して流れなくなった本流や次々に埋め立てられて河川公園に姿を変える河川敷を見て生き物としての川に危機感を感じ、次々と姿を消す在来種に心を痛めてきました。

中でも河川敷に作られる公園や農園・グラウンドなどは「なぜここに無ければいけないのか？」が常々不思議でなりませんでした。

農園などは確信犯なので言語道断なのですが、グラウンドに関しては「少年が利用する」ということで批判も多いと思いますが、これらが河川敷にある正当な理由が見つかりません。近年不況で更地になった工場跡地や、週休2日で週二日も使われなくなった学校のグラウンド等々、少しでも自治体が運用を考えれば利用できる場所はいくらでもあります。

そんな努力をせずに安直な河川敷を利用していたに過ぎないと思います。確かに淀川河川敷に暮らしていた生き物や植物は文句を言わないので、グラウンドにするのは簡単だったでしょう。でも野球は河川敷でなくてもできますが、河川の生き物や植物は河川でないと暮らしてゆけないのです。この大前提は全ての議論に優先されるべきと感じています。

少年野球も悪気があって使っていた訳ではないので気の毒な気もしますが、今後の少年野球の練習場は自治体や地元の学校などで検討していただければ良いことと思います。特に今回撤去されたのが無許可のグラウンドや農園ですが、河川敷公園についても同じことが言えると思います。

各自治体が自分たちの縄張りの中に公園を作りたい！という発想から各自治体毎に河川敷に公園を作った挙げ句に今のような「公園だらけ」の河川敷が出来上がったと思うのですが、あそこを利用している人達がどれだけ「河川」を意識しているのでしょうか？ 見ているのでしょうか？

あれとて単にバーベキューが出来る広い芝生さえあれば事足りるような気がします。これも各自治体が抱える更地になった場所を集約して芝生公園でも作り、入場料でも取って維持すれば済むことだと思います。繰り返しになりますが、今の河川敷公園は「河川敷」という名があるだけで、決して河川を必要としていないのです。そんな状態で本来そこに住むべき生き物を排除し続けるなんてナンセンスでしかありません。

今後、貴会がこのような「自治体の怠慢と傲慢の結晶」とも言える河川敷公園を淀川から

排除し、本当の「生きた淀川」を取り戻せるよう頑張ってもらいたいと陰ながら声援を送ると共に、淀川大堰の廃止を含めた堰の運用の見直しや、高水敷の切り崩し、低水路掘削による河床低下の改善等々を行い「本来の川の流れ」を取り戻して、都会に流れる川に生きた回廊を取り戻して頂ければと願って止みません。

後世が「本当に良くやってくれた」と感謝して貰えるような淀川を残せるよう頑張ってもらいたいと思うと共に、今の時代を生きる者の使命として自分でも出来るだけのことはやりたいと考えています。

取り留めもない文章になってしまいましたが、今後も「本当に大切なもの」のために、頑張ってください。